

総合講座「課題研究発表会」

11月11日（水）の5・6限に、本校教育の特色の一つである総合講座で説明されることを「課題研究発表会」で披露しました。

開会の挨拶で、校長先生は総合講座における探究活動として、①「各自が主体的に興味・関心のある課題の設定」②「より多くの確かな情報収集」③「集めた情報を分類、整理、分析」④「探究活動を振り返り、資料を作成し、発表」の四つの流れを確認しました。そして、「発表する時は、落ち着いてはっきりと伝えてください。グループ内での友達への思いやりが十分発揮される発表にしてください」と激励しました。

「故郷探検」講座は、「岩瀬町めぐりフィールドワーク」と「富山のくすり」について発表しました。実際に歩いた地元の岩瀬の街並みの様子や歴史、祭りなどについて発表しました。

「環境問題」講座は、「レジ袋有料化から見るゴミ問題」について、実際に近隣のスーパーやコンビニを回って有料のレジ袋を購入し、ゴミ問題の現状について説明しました。

「福祉」講座は、「福祉」「介護福祉士」「福祉の歴史」「世界の福祉」の4つのテーマに分け、福祉の現状や課題について発表しました。

「高朋農園」講座は、実際に行った畑や田んぼでの植え付けや収穫などの活動を通して、おいしい食べ物を作る喜びを伝えました。

「情報コミュニケーション」講座は、「J-POP」「高校生の人気のアプリ」「海外おすすめスポット」「インターネットの歴史と仕組み」の4つのテーマについて発表しました。ランキング形式で発表の仕方を工夫したり、普段何気なく使っているインターネットについて考えさせたりする発表をしました。

「国際理解」講座は、「世界各国の規制」について発表しました。世界各国で銃などによって人命が失われている現状について、自分自身が今後どのようにすればよいかについて発表しました。

コロナ禍で十分な探究時間がなかったにもかかわらず、どの講座も、ICT 機器を上手に使い、堂々と発表していました。

閉会の挨拶で、副校長は「疑問に思ったり、興味・関心を抱いたりすることはとても大切です。そして、追究・探究することは、自分を成長させてくれます。今後も探究心をもち続けて生活してほしい」と結びました。



【故郷探検」講座の発表】



【環境問題」講座の発表】



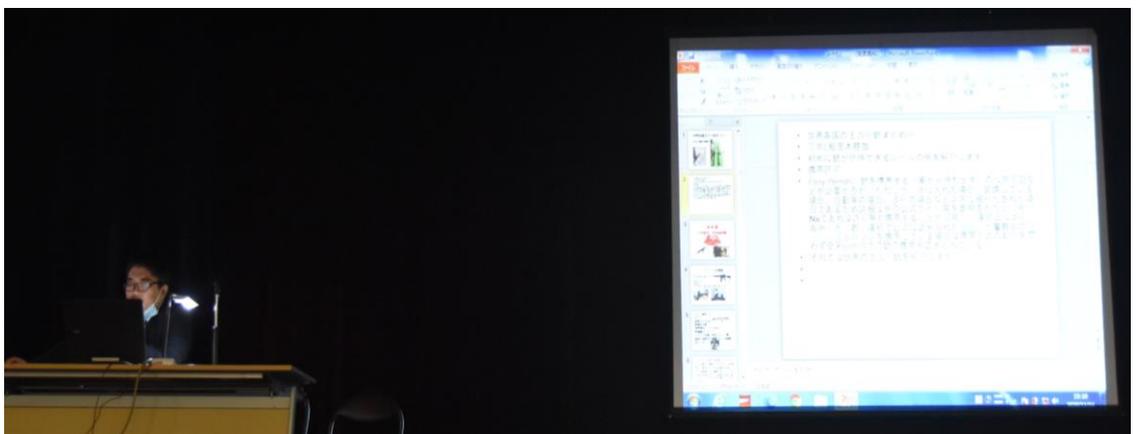
【「福祉」講座の発表】



【「高朋農園」講座の発表】



【「情報コミュニケーション」講座の発表】



【「国際理解」講座の発表】